

連携推進地区活動報告

令和6年度 上瀬谷地区推進テーマ

あこがれを見つけ、 夢中になってかかわる子



上瀬谷地区
中屋敷保育園
上瀬谷小学校

推進テーマ設定の理由

上瀬谷地区の保小交流は、「子どもは子どもの中で育つ」という**実感のもと**、「0歳児から6年生」という幅広い年齢で、様々な形で交流活動を行っている。

「あこがれ」

子どもが「こうありたい」と自分自身に対して抱く願いや理想の姿でもありと広くとらえていく。

「夢中になって」

「もっと〇〇したい」という志向性や「もう一度やってみたい」といった挑戦心。「どうしたら〇〇できるのかな」といった追究心。

「かかわる」

子どもの目の前の「人・もの・こと」に、自分ごととして向き合う。

推進内容

○ 子どもが「あこがれの〇〇」を見つけられるための支援

- ・「気軽に」「いつでも」「何度でも」交流したいとお互いに思える園と学校の関係づくり
- ・「〇〇さんのために～したい」と思える異年齢交流の活動や体験の充実

○ 子どもが人・もの・ことに「夢中になってかかわりたくなる」ためのストーリーづくり

- ・活動や体験が子どもにとって、「自然な出会い」「必然的な目的」「気になる相手」「解決したい問題」「繰り返し挑戦できる機会」となるよう、子どもの声を引き出すこと
- ・年齢に応じた「めあて」と「振り返り」の充実を図り「体験」と「ことば」をつなぐこと

今年度の重点課題

○ **園と学校の職員のコミュニケーションを図り、「気軽に」「いつでも」「何度でも」交流できるようにする。**

・担当同士が互いの願いを聞き合いながら、先手先手で活動の見通しをもつ。

○ **交流活動の「過程」を子ども中心に積み重ね、「子どもの育ち」を見取り、価値づける。**

・「〇〇さんのために…」「〇〇さんと～したい」といった思いや願いをもち、自分なりの工夫をしながら活動を楽しむ5歳児や1年生児童の育ち。

・乳幼児とのかかわりを通して、「かわいい、愛おしい」など心を揺り動かす。

推進地区事業のあらまし

	1年	5年
4月	交流①～出会い～ ちよこっと交流(園→学校) 交流②～どろんこあそび～ (学校→園)	
5月		
6月		
7月		
8・9月	交流③～学校たんけんてな かよし～(園→学校) ちよこっと交流 交流④～お楽しみパー ティー～(園→学校)	ちよこっと交流(学校→園)
10月		
11月		
12月		
1月		交流⑤～楽しみ、1年生～ 交流⑥～給食交流～
2月		
3月		
4月	1・2年交流	1・6年バディ サポート体制

入学

ゴール

4月～7月の様子

推進委員会 ～パート①～

5月1日(水) 大人だけの作戦会議

1年生と5歳児の交流。

5年生と5歳児の交流。

5年生と0～2歳児の交流

4月～7月の様子

交流① ～出会い～（1年生と5歳児）

学校の近くまでお散歩に来ていたたんぽぽ組のお友達に遭遇。「一緒にあそびたい！」との声！

虫さがし

だんご虫、
みつけ！



小学校の校庭って、ひろーい！



遊具



みてみて
すごいでしょ



ゆうぐも いっぱい



😊次は、保育園にもあそびにきてね！

4月～7月の様子

交流② ～どろんこあそび～

- ・ 保育園におよばれた1年生。全身泥だらけになって遊んで なかよし😊



つめたくて
きもちいい!



川ができた!!



こんどは学校にきて遊ぼうよ!

9月～12月の様子

交流③ ～学校たんけんて なかよし～

- ・ 保育園のお友達を学校にご招待！ 遊んで、学校を案内して、お兄さんお姉さん気分♪



まってー

まけないぞ



ささえてあげる



手をつないで...
こっちだよ



9月～12月・1月の様子

交流④ ～お楽しみパーティー～

- ・ 冬休みに入る前の「お楽しみパーティー」開催！



にげろー！



4人そろったよ！



まけないよ！

9月～12月・1月の様子

交流⑤ ～楽しみ、一年生！～

- ・ 5年生が保育園に訪問！来年在しみだね。



どうやって遊ぶの？



あなたが年長さんの時にくれた手紙大切にしているよ、大きくなったね。



小学校、どんなことが楽しみ？

次年度に向けて

【出会い】

事前に教員同士が打ち合わせをすることにより、子ども同士が自然に出会い、中休み等に自然に関わり合う姿が見られた。(成果)

【見通し】

計画に沿って活動することはできたものの、もっと気軽に交流を行うことにより、より相手意識を高めることができたと考えられる。(課題)

【見取りの具体性・深さ】

「この時間はこんなことを大切に見ていこう」という共通認識をもつまでには至らなかった。来年度は交流ごとに見取りの具体性を意識した交流ができるようにしたい。
(課題)

次年度に向けて

【相手意識】

交流の際に、1年生には園の子の名前を覚え、名前と呼ぶように声掛けをした。

しかし、「〇〇さんのために」「〇〇さんと一緒に…」といった考えをもつまでには至らなかったと考えられる。相手の名前を意識してグループで活動したのは交流③のみであったため、思いを深めることができなかったと考えられる。(課題)

【次年度に向けて】

来年度は交流の頻度について検討を行い、1年生の育ちとしてどこまでを求めるのかといった視点から、交流計画を立てる必要があると考える。